

- ☆第17回定期大会
- ☆第17回定期大会 会長挨拶(要旨)
- ☆新任役員紹介
- ☆退任役員紹介
- ☆第17回定期大会フォト/ネット21運動「パソコン贈呈式」
- ☆ネットワークSAITAMA21運動
- ☆組合役員教育プログラム修了証書授与式/12月の行動日程
- ☆あけぼのビル

安心社会へ新たなチャレンジ

～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

第17回定期大会開催



連合埼玉は11月17日(水)、第17回定期大会をロイヤルパインズホテル浦和にて、役員・代議員・傍聴など、約170名参加のもと開催しました。

今回の定期大会は、新型コロナウイルス感染症への対策をはかりながら、会場の招集人員も定期大会の成立要件を満たす役員・代議員のみでの開催としました。したがって、従来招集していた特別代議員などはWEB会議システムで10名に参加いただき、例年ご臨席頂いている来賓は出席の要請はせず、埼玉県の大有知事からのメッセージのみの紹介としました。

定期大会の中では、報告事項として2021年度活動経過報告・会計報告、議事項目として規約・規則の一部改正、2022～2023年度運動方針、2022年度予算、役員の選出について審議され、全ての議案が満場一致にて承認されました。その後、顧問が委嘱され、「第26回参議院選挙必勝決議」および「第17回定期大会宣言」が採択され、定期大会を閉会しました。

連合埼玉第17回定期大会での 報告事項及び議事内容

【各種報告】

- 1)2021年度 活動経過報告
- 2)2021年度 会計報告
- 3)2021年度 会計監査報告
- 4)特別報告
 - ①2021年度「埼玉県労働委員会」報告
 - ②2021年度「埼玉地方最低賃金審議会」報告

【議事】

- 第1号議案 規約・規則の一部改正(案)について
- 第2号議案 2022～2023年度 運動方針(案)について
- 第3号議案 2022年度 予算(予算)について
- 第4号議案 2022～2023年度 役員の選出について
- 第5号議案 顧問の委嘱について

【その他】

- 第26回参議院選挙必勝決議の採択
 第17回定期大会宣言(案)の採択

連合埼玉第17回定期大会 挨拶要旨

会長 近藤 嘉



近藤 嘉会長

日頃より連合埼玉の活動に対しまして、ご理解・ご協力をいただいておりますこと、重ねて御礼を申し上げます。第17回定期大会開催にあたり、この2年を振り返りながら、2022年度に向けての取り組みについて、大きく3点程所見を述べさせていただきます。

【コロナ禍における活動について】

第16回定期大会からの2年間は、その大半が新型コロナウイルスとの闘いとなりました。10月より全国で緊急事態宣言が解除されましたが、急激な増減に対するはっきりとした分析結果は出ていません。そういった意味では、また感染者が急増するかもしれない、依然として感染拡大は予断を許さない状況が続いており、そのことを意識しながら行動していく必要があると考えています。

このような中で、今、この瞬間も私たちの命とくらしは、エッセンシャルワーカーの皆さんの努力をはじめ、多くの働く仲間によって支えられています。また、組合役員の皆さんは、対面の活動に制約を受ける中であっても、現場・組合員の声や悩みに正面から向き合い、寄り添い、そしてできることを着実に取り組んでこられたことと思います。この間におけるすべての皆さんの大変なご苦労とご奮闘に、改めて敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。

【来期の運動スタイルについて】

コロナ禍の影響により、雇用や賃金、労働条件が脅かされ続けているとともに、フェイス トゥ フェイスでの活動・対話が、いかに重要かということを確認させられました。これからの運動・活動を踏まえ、極めて重要なきっかけとなった2年間でした。私たちは、この状況を直視し社会的セーフティネットの確立を含め、運動スタイルを進化させていかなければなりません。これまで組合活動と距離があった仲間や連合の存在を知ることが無かった働く仲間との関係づくりは、極めて重要な意味を持っています。だからこそ、リアルとオンラインそれぞれの特性を生かし、変化に対応した労働運動のスタイルをこれからの2年間で議論・確立させていくとともに、職場や地域のすべての働く仲間にとって、「必ずそばにいる存在」として、連合埼玉の位置付けを高めていきます。

また、組合員の更なる参加と組織拡大により集团的労使関係の輪を更に広げていくことは、すべての働く仲間の連帯と安心を土台とした新たな経済・社会を展望する上で、重要な要素です。そのためには、私たち自身がチャレンジ意識を

持ち運動の価値を高めるとともに、多様な知見を有する様々な団体と連携を強化することで、地域における「連合プラットフォーム」を充実させ、幅広く積極的に対話を重ねていくことが極めて重要です。そのためにも、共感と参加・行動に結びつけていく好循環を作り上げていきましょう。

【政治について】

連合は、日本の民主主義が危機に瀕していると警鐘を鳴らし続けてきました。包摂的な社会を実現するためにも、民主主義を正しく機能させることが不可欠であり、政策決定プロセスの透明化など、国民に対する政治・行政の説明責任の発揮を求めていくことが重要です。

そのためにも衆議院議員選挙での働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の拡大は、極めて重要でした。しかし、各地で激戦が繰り広げられたものの、その大半を与党が制し絶対安定多数を許す結果となり、二大政党的体制への実現には至らず、むしろ後退したことは極めて残念です。併せて、政治分野における女性の参画拡大は、政治に民意を反映させる観点から極めて重要ですが、衆議院議員に占める女性の割合は10%程度、参議院議員でも約23%と、国際的に見ても遅れています。今後そういった観点も踏まえ、分析するとともに各党には一層の努力を強く求めていきたいと思ひます。

また、投票率については55.93%と、戦後3番目に低い投票率となりました。併せて埼玉県で行われた中間選挙でも、投票率が低い状況が続いており、有権者と政治との距離感に強い危機感を感じています。国民の政治への関心や信頼をこれ以上損なわないためにも、私たち連合としても厳しく政治をチェックしながら、引き続き働く者・生活者のための政策実現に向けて活動を進めていきたいと思ひます。

この間の各種中間選挙ならびに第49回衆議院議員選挙において、推薦候補者の当選に向け、昼夜を問わず精力的に取り組んでいただいた皆様のご尽力に敬意を表するとともに、心より感謝・御礼を申し上げます。今後おこなわれる、参議院選挙、統一地方選挙、埼玉県知事選挙での勝利に向け、立憲民主党、国民民主党には、連携・協力をより確かなものとし、一つの大きな塊になることを求め続けていくとともに、連合埼玉・構成組織・地域協議会が一丸となって、組織内候補者、連合推薦候補者全員の必勝をめざすことを、この場で確認し合いたいと思ひます。

最後に、働く者・生活者の視点に立ち、すべての働く仲間にとって「必ずそばにいる存在」だからこそ、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の働く仲間ひとり一人を守り、働く仲間・地域社会をつなぎ、社会・経済の新たな活力を創り出していただけるのだと思ひます。希望の持てる持続可能な社会の実現をめざし、構成組織・加盟組合・地域協議会の総力を結集し、連合埼玉として全力で取り組みを前に進めていきます。

新任役員紹介

①産別・単組 ②抱負

副会長

今井 信博(いまい のぶひろ)

- ①JAM埼玉 ボッシュ労働組合
- ②これまで6年間比企地域協議会にて事務局を担当していた経験を生かして、埼玉の地で働く方々のニーズを的確に捉え、連合埼玉の方針と照らし合わせて、持続可能な労働運動に邁進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。ともにがんばりましょう!!



副会長

関口 聡(せきぐち さとる)

- ①JP労組関東地方本部
- ②急激に変化する社会環境の中、各種政策制度の実現を図り安心して働ける環境づくりに向け、微力ではありますが連合埼玉に集う仲間の皆さんと共に運動を推進していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



執行委員

富田 勝之(とみた かつゆき)

- ①UAゼンセン 島忠労働組合
- ②連合埼玉に集う仲間の組合員の生活向上のため、微力ながら尽力して参ります。働く者の立場に立った運動を心掛け、活動を推進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



執行委員

米澤 朋洋(よねざわ ともひろ)

- ①埼玉県電力総連 関電工労働組合
- ②自単組でも新任専従役員ということで活動に慣れないことばかりではありますが、新任の特権として分からないことを強みに活動に代えたいと思っております。また、自総連・自単組では経験することのできない他産別との交流を連合の活動ではできると思っておりますので、この経験を自総連・自単組で共有していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



執行委員

五十嵐 晃(いがらし あきら)

- ①情報労連埼玉県協議会 NTT労組北関東信越総支部
- ②連合埼玉での活動は、約10年前に青年委員会でお世話になって以来です。現在では、コロナ禍を契機に社会全体(産業・仕事・行政・教育・生活など)が大きく変化しており、創意工夫した取り組みの推進が求められているものと考えます。連合埼玉の活動の一助となれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



執行委員

大野 次洋(おおの つぐひろ)

- ①埼玉県私鉄労働組合連合会 東武バス労働組合
- ②私鉄しか知らず、多くの産別が結集する連合体へは初めて参画いたします。幅広い知識を養い単組での取り組みに役立てるとともに、全ての働く者の社会的・経済的地位の向上に向け、微力ながら頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



執行委員

丹羽 宝宏(にわたかひろ)

- ①UAゼンセン埼玉県支部
- ②青年の代表として少しでも役に立つよう頑張っております。青年委員会は「次世代の担い手である青年層の人材育成」を掲げて、研修会やイベントを企画・運営しております。是非、多くの組合員に参加して頂きますよう宜しくお願い致します。



執行委員

藤井 久恵(ふじい ひさえ)

- ①政労連埼玉地連 社会保険診療報酬支払基金労働組合 埼玉支部
- ②皆さまからのご指導をいただきながら、今できることを一つずつ行うことといたします。どうぞよろしくお願い致します。



会計監査

梶原 康智(かじわら やすとも)

- ①印刷労連関東北部地方協議会 凸版印刷労働組合TCP支部
- ②新型コロナウイルスを機に多様な働き方になってきている中でも、労働運動の根幹にある助け合いの精神は変わらず、様々な活動につづけるものと考えております。いただいた機会を活かし、より広い視点をもって連合運動に携わっていきたく思っておりますので、よろしくお願い致します。



会計監査

鈴木 悦子(すずき えつこ)

- ①政労連埼玉地連 基金労組埼玉支部
- ②今回初めて役員を務めますので、不慣れな面が出てしまうと思いますが、不明な点は他の役員の皆様に確認を取りながら、連合埼玉の皆様と共に、より良い暮らしのために精一杯尽力してまいりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。



退任役員紹介

①在任期間 ②産別・単組 ③ひとこと

前副会長 谷内 聡(たにうち さとし)

- ①2015年11月～ 6年間
- ②JAM北関東 ポッシュ労働組合
- ③これまでの多くの組織・役員・組合員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。全国の連合の中でも連合埼玉の運動推進力は大きいと感じています。今後さらに参加率や行動力を高めていただき、労働運動をリードしていただけますよう祈念しております。私自身も新たな役割の中央労働金庫の理念のもと、労働組合の世話役活動と連携して皆さんの安心した生活と将来づくりをしっかりとサポートできるよう尽力してまいります。



前副会長 西藤 勝(にしふじ まさる)

- ①2017年8月～ 4年間
- ②JP労組 JP労組関東地方本部
- ③2017年に副会長として任に就かせていただきました。振り返れば、担当であった政治センター代表幹事に着任直後の衆議院解散総選挙では、連合が支援する民進党が解党する中での難しい闘いで、悩みながらも、埼玉の勤労生活者のため最善の判断に心がけ、取り組んだことが忘れられません。今後も連合埼玉には、県内で働く仲間たちの拠り所となって躍進されますようご祈念を申し上げ、感謝と御礼の言葉とさせていただきます。



前執行委員 長沢 英俊(ながさわ ひでとし)

- ①2019年11月～ 2年間
- ②UAゼンセン 関東労組川口化学支部
- ③業務及び産別都合により、第17回定期大会をもって退任の運びとなりました。前任から引き継ぎまして、これからという時にコロナ禍となり、思うように会議にも出席できず申し訳なく思っております。今後も連合埼玉には産別や地域協議会でお世話になります。引き続きよろしくお願いいたします。



前執行委員 鈴木 真司(すずき しんじ)

- ①2017年11月～ 4年間
- ②埼玉県電力総連 関電工労働組合埼玉支部
- ③2期4年間、執行委員として連合運動に参加させていただきありがとうございました。様々な活動を通じて他産別の皆さんと意見交換が出来た事が今後の組合活動により良く繋がると思っています。引き続き自単組で労働組合活動を行いますので何処かで合った時にはよろしくおねがいします。



前執行委員 井上 尚子(いのうえ なおこ)

- ①2019年12月～ 2年間
- ②情報労連埼玉県協議会 NTT労働組合
- ③コロナ禍にあり活動が制限された2年間でした。そんな中、連合そして産別が一体となり創意工夫し運動を前進させることができたのは連合埼玉に集う仲間の熱い気持ちだと感じています。今までお世話になり、ありがとうございました。連合が目指す誰もが安心して暮らせる社会が1日でも早く実現出来るよう応援しています！



前執行委員 増田 哲(ますだ さとし)

- ①2019年11月～ 2年間
- ②埼玉県私鉄 東武バス労働組合
- ③2年という短期間の上、コロナ禍において行動制限もあり、労働運動が思うように行えませんでした。この中で数々の経験をさせてもらったことは、今後の職場でも活かせるものと考えています。今後の労働運動が益々発展することをご祈念いたします。



前執行委員 岡 勇介(おか ゆうすけ)

- ①2019年11月～ 2年間
- ②自動車総連 鬼怒川ゴム工業労働組合 埼玉支部
- ③青年委員会の代表として執行委員を2年間務めさせていただき、誠にありがとうございました。青年委員会では3年間務めさせていただき、構成組織の枠を超えた交流を図りながら、数多くの貴重な経験を積むことができました。この3年間で得た経験やみなさんとの出会いは私の財産であり、宝物です。大変お世話になり、ありがとうございました。



前執行委員 伏見 美千代(ふしみ みちよ)

- ①2018年11月～ 3年間
- ②UAゼンセン 花菱縫製労働組合
- ③組合活動をしていて、やっと最初で最後に平和行動に参加できたことが良かったです。女性委員会の委員長になり、幹事の皆さん、そして執行委員の皆さん、いろいろご迷惑をおかけしましたが大変お世話になりました。これからも女性委員会をよろしくお願いいたします。



前会計監査 柳澤 潔(やなぎさわ きよし)

- ①2019年11月～ 2年間
- ②凸版印刷労働組合 秋葉原支部幸手分会
- ③2年前に会計監査の任を受けてから知らぬ間にコロナという波に飲み込まれてしまい2年の月日が経ちました。感染拡大防止対策の中で自分なりに監査をこなす事はできましたが、何か心残りな感じがします。予断の許さない世の中ではありますが、笑顔を大切に陰ながら協力ができたらと思います。ありがとうございました。



前会計監査 井上 利明(いのうえ としあき)

- ①2019年11月～ 2年間
- ②政労連埼玉地連 IAMユニオン
- ③2年間という短い期間でしたが大変お世話になりました。会計監査という重責を不慣れな作業ではありませんでしたが全うすることができました。コロナ禍での室内作業の為、室内換気、手や触れた場所への消毒など、通常ではない状態での関係職員皆様の心配りに感謝いたします。



第17回定期大会フォト



第26回参議院議員選挙 必勝セレモニー



議長 関祐太代議員(JP労組)
中野秀一代議員(電力総連)



書記 木村祐一さん(青年委員会)
竹中 愛さん(女性委員会)



第26回参議院選挙必勝決議の採択
金谷慶國副会長



大会宣言(案)の採択
小林健一副会長



閉会挨拶
沼尻俊彦副会長

ネットワークSAITAMA21運動

10団体に対してパソコン贈呈を!

ネット21運動では、「NPO応援・物品助成プログラム」の取り組みの一つとして、毎年、NPO団体などに対してパソコン贈呈をおこなってきました。

今年度は、20団体からの応募があり、運営委員会による厳正な審査の結果、右表の10団体に贈呈することといたしました。(累計157台寄贈)

パソコン贈呈式については、11月17日(水)「ロイヤルパインズホテル浦和」にて開催した「連合埼玉第17回定期大会」にあわせて実施しました。



2021年度パソコン贈呈式

【贈呈団体一覧】

- ①レインボーさいたまの会(川越市)
- ②NPO法人日本社会福祉事業協会(杉戸町)
- ③NPO法人子育て家庭支援センターあいくる(入間市)
- ④NPO法人浦和スポーツクラブ(さいたま市浦和区)
- ⑤NPO法人チーム東松山(東松山市)
- ⑥介護保険サポーターズ本庄(本庄市)
- ⑦NPO法人冒険あそび場ネットワーク草加(草加市)
- ⑧NPO法人地域人ネットワーク(さいたま市見沼区)
- ⑨NPO法人パープルネットさいたま(さいたま市中央区)
- ⑩NPO法人彩の子ネットワーク(上尾市)

ネットワークSAITAMA21運動(ネット21運動)

全組合員に対する周知・理解活動で、一層の普及・拡大を!

ネット21運動って?

ネットワークSAITAMA21運動(以下、「ネット21運動」という)は、連合埼玉ならびに埼玉労福協が推進母体となり、勤労者の暮らしを生涯にわたってサポートする運動や子育て・介護をはじめ、地域社会で解決しなければならない問題に取り組むため、労働運動や労働者福祉運動ならびに埼玉県内の様々なNPOや市民団体との連携をつうじ、働く者と地域の市民が出会い、理解しあって、勤労者の生活と暮らしを支え合う「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

具体的な活動は?

ネット21運動では、「共生の地域社会づくりへの積極的な参画」「勤労者の生涯にわたる暮らしのサポート活動」「市民社会との連帯と協働」をめざして、3つのプログラムと特別事業に取り組んでいます。

1. ライフサポート・プログラム

- (1) 相続や資産運用、カードローン、介護、健康増進など、生活・暮らしに関わる多様な研修メニューによる「暮らし応援セミナー(出前講座)」
- (2) 勤労者のライフサポート(生活・暮らしサポート)の観点から、生活困窮者などの支援に取り組む団体などと連携し、必要な支援をおこなう「生活困窮者支援」

2. ボランティアサポート・プログラム

- (1) 特技や趣味を活かし、ボランティア活動などをつうじて地域社会に貢献したい、参加したいと思っている50歳以上の方に登録してもらい、ボランティア活動やNPO活動などを紹介・案内する「シニア人財バンク」
- (2) 自然環境体験事業「夏休み親子・ファミリー自然体験」を、毎年、尾瀬で実施しています。また、夏休み親子自然体験教室「山の学校inときがわ」を、パソコン助成団体のひとつである「ときがわ山里文化研究所」と連携・協働し、実施しています。

3. NPOサポート・プログラム

- (1) 地域で活動・活躍するNPOなどの支援として「物品等助成事業」をおこなっています。その一つとして、15年前より毎年、パソコン助成をおこなっており、2021年度までに157団体に寄贈しました。

また、緊急時の「NPO応援・少額(物品等)助成」もおこなっており、2021年度は2団体(2021年11月1日時点)に助成しました。



2020年度パソコン贈呈式

- (2) NPO活動への理解と具体的な社会参加をサポートする事業として、2017年度に“ネット21運動でつながるNPOと労働組合”と題しシンポジウムを開催しました。2018年度以降は、より地域内の労働組合とNPOの連携が深められるよう「地域セミナー」を開催しており、2021年度は東部・北部地域で開催しました。



地域セミナーIN東部



地域セミナーIN北部

4. 東日本大震災被災者・避難者支援活動 ※特別事業

2013年度より、家族の絆づくり、子育て支援などをコンセプトに「バーベキューファミリー交流会inサイボクハム」「ママランチ会」などを実施しています。

ボランティアカードとは?

ボランティアカードは、「ネット21運動」への協力の証として発行されるものです。ご協力をいただいたカード協力金(500円)の内、契約料やカード代などを差し引いた額が「ふれあいコミュニティ・ファンド」に寄付され、各種セミナーやNPOへの支援など、「ネット21運動」の様々な事業に活用されています。

詳細はホームページ

(<https://net-saitama21.jp>)でご確認ください。

～普及・定着のための説明会を～

構成組織、加盟組合、地域協議会主催の会議で説明会を開催させていただきます。

皆様が開催する会議などでお時間を頂ければ、事務局を派遣し、内容などについて説明させていただきます。ぜひ、お声掛けください!

人をまとめ組織を担うリーダーの育成

2021年度連合埼玉「組合役員教育プログラム」終了証書授与式

10月29日(金)あけぼのビルにおいて、組合役員教育プログラム2021年度修了証書授与式を開催しました。本年度は基礎講座5名、実務講座2名の計7名が各講座における全プログラムを終了し、基礎講座を終了した3名が参加して修了証書を授与しました。

平尾事務局長からの連合埼玉代表挨拶の後、組合役員教育プログラム運営委員会委員長である金谷副会長から、「修了証書授与にあたって」と題した講話がありました。

「組合役員には職場の代表者という意識と行動により、

職場の意見や問題を汲み取り、多様な意見をまとめる力が求められる。主張・配慮・説得・進行をバランス良くまとめることができれば、より良い形で合意形成に結びつく」との話がありました。

続いて金谷副会長より、修了者一人ひとりに修了証書が手渡され、受講した感想やプログラムに対する意見・要望など意見交換をおこないました。2021年度は全講座WEB会議システムによる開催となったことへの成果と課題についても意見をいただき、次年度へと繋がる授与式となりました。



平尾事務局長



金谷副会長から修了書を授与



修了者のみなさん

現在予定される12月の日程表です

12月	連合埼玉・事務局	行事等
1日 水	埼玉公務労協「第2回幹事会」(18:30～・県労評会館)	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
2日 木		連合関東ブロック総会(12:30～3日・Jビレッジ)
3日 金		県央地域協議会「第13回定期総会」(18:00～・UDトラックス労働組合)
4日 土		
5日 日		熊谷・深谷・寄居地域協議会「第5回チャリティーゴルフ大会」(美里ロイヤルゴルフクラブ)
6日 月	ネット21「第6回運営委員会」(10:30～・あけぼのビル)	連合「全国最低賃金対策会議」(15:00～・Zoom開催)
7日 火		川口・戸田・蕨地域協議会「第9回幹事会」(18:30～・川口友愛センター)
8日 水	①第1回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②2022年度組合役員教育プログラム開講説明会(15:30～・ときわ会館)	熊谷・深谷・寄居地域協議会「第8回幹事会」(18:15～・秩父鉄道労働組合)
9日 木		秩父地域協議会「第14回幹事会」(18:00～・勤労者福祉センター)
10日 金		①埼玉労働局「第1回埼玉地方労働審議会」(9:30～・ホテルプリランテ武蔵野) ②中央労金埼玉県本部「第5回運営委員会」(15:00～・労金埼玉県本部) ③比企地域協議会「第33回定期総会」(18:00～20:00・ガーデンホテル紫雲閣) ④比企地域協議会「第33期第1回幹事会」(20:15～21:00・ガーデンホテル紫雲閣)
11日 土		
12日 日		
13日 月		
14日 火		
15日 水		北埼玉地域協議会「合同幹事会」(18:00～)
16日 木		
17日 金	第1回拡大アドバイザー会議(14:00～・浦和ワシントンホテル)	
18日 土		
19日 日		
20日 月		
21日 火		
22日 水		
23日 木		
24日 金		
25日 土		
26日 日		
27日 月		北方領土返還要求運動「関東甲信越青少年交流会」(14:30～16:30・Zoom開催)
28日 火		
29日 水		
30日 木		
31日 金		

1月4日まで冬期休暇



Akebono Building

あけぼのビル

事務局長 平尾 幹雄

<羅針盤>

第17回定期大会が11月17日(水)に開催され、2022～2023年度の運動方針を含めて確認されました。

今回の運動方針の策定においては、この2年間にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの運動そのものに、大きな意識改革を迫られました。特に、日々更新される全国や地域の感染状況の数値から、否応なく感染の恐怖や不安を感じながら、現実には見えないウイルスに対して、弛まない感染対策をおこなう状況が続いています。

特に、私たちの職場や地域社会においても、マスクの着用、店舗・工場・会議場などの入退出の体温チェック、アルコール類による手指消毒、ソーシャルディスタンスなど、感染対策による日常生活の変化が起こっています。

このわずか2年間で、これまでの日常が変わり、そして、いつまで続くのか誰もわからない感染状況の中で、私たちの社会にどのような変化をもたらすのか、先が見通せない状況にあります。

このような状況にあっても、私たちの運動の現在地を示し、そして運動を進める方向を指し示すことができる「連合の羅針盤」として、運動方針を示しました。

<立ち位置>

私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」ビジョンに向けて、労働運動を進めていく中で、長期化する新型コロナウイルスの影響で、この2年間でさまざまな課題を直視することになりました。

1つ目は、雇用と賃金・労働条件が脅かされました。2つ目は、社会に必要なセーフティネットが弱く、とりわけパート・有期・派遣契約・フリーランスなどで働く人、女性、外国人、学生など多くの仲間が困難な状況に立たされています。3つ目は、テレワークの普及が働き方の自由度を高めた一方、オンラインを前提とした日常的なコミュニケーション不足が心身の健康への影響や人材育成への影響、さらには家庭内DVの温床などの影響がありました。4つ目は、デジタルインフラの整備の遅れから、定額給付やワクチン接種予約など、適切な時期に、給付や支援を届けることができない課題も浮き彫りになりました。5つ目は大都市圏への人口集中により、感染拡大も大きく、地域間格差がもたらす経済・行政の課題も浮き彫りになりました。

このように浮き彫りとなった課題を克服するためには、すべての人の人権が尊重され、誰もが平等・対等で、多様性を認め合い、「持続可能性」と「包摂」を基底に置いた連合ビジョンの実現こそが、「連合の立ち位置」と言えます。

<必ずそばにいる存在>

新たな第17期を迎えて、新型コロナウイルスの感染対策の中で、さまざまな課題を抱え、この現状を直視しながら、雇用の維持と創出、賃金・労働条件の向上、社会的セーフティネットを確立するために、運動スタイル自体を進化させる必要があります。そのためには、これまで、そしてこれからも組織として、大事にすべき運動項目があると思います。

1つ目は、「フェイス・トゥ・フェイス」の対話の重要性になります。この2年間、さまざまなコミュニケーションのあり方を模索しました。組合員・加盟組合(単組)・構成組織(産別)・地協などの様々なコミュニケーションは、リアルかオンラインにかかわらず絶対に欠かすことのできない取組みであり、互いの意思疎通こそが、運動・活動の結節点として、運動力・組織力につながっていることだと思います。

2つ目は、「集団的労使関係」の重要性になります。労働組合の原動力は現場にあります。現場においては、働く仲間の声を聴き、その声を企業、自治体、国に届けることによって組織や社会がより良くなっています。その原点になっている集団的労使関係は、職場を、産業を、社会を、世界を変えていく原動力となります。

3つ目は、「幅広い社会の構成者との対話」の重要性になります。私たちが新たな運動スタイルを希求する上では、労協協や労働金庫・こくみん共済coopといった労働福祉団体をはじめ、国・県・自治体、経営者団体、生産性本部、多様な知見を有するNPOなど幅広い社会の構成者との対話により、共感と参加・行動につながる組織へと進化する必要があります。

大きな変化の時だからこそ、職場にあっても、地域にあっても、すべての働く仲間にとって「必ずそばにいる存在」であるべきだと思います。

<スクラム>

埼玉県熊谷市は、「暑いぞ、熊谷!」で有名ですが、「西の花園、東の熊谷」と呼ばれるほど、ラグビープレーヤーの憧れの地「ラグビータウン熊谷」としても有名です。2019年には、ラグビーワールドカップの開催地として、多くのラグビーファンを魅了したことは記憶に新しいと思います。その中でも、ラグビーの大事なセットプレイに「スクラム」があります。

ラグビーを知らない人でもなんとなく知っている「スクラム」は、ラグビーの見どころの1つでもあります。

新しい第17期を迎え、新しい体制の下、大きな変化の中でも、みんながまとまって「スクラム」を組み、大きな目標に向かって、一步一步、前へ進めていきたい。

2021.11.19



熊谷駅北口駅前
「ラグビータウン熊谷」の
ラグビーモニュメント